

## 資料編

## 1. 令和5年度地域お世話役さん対象アンケート調査結果

※（ ）の数字は、平成29年度第3次計画策定にかかる調査時の数値

調査票配布依頼 427名（前回：461名）  
 令和5年6月1日発送 6月14日締め切り  
 郵送依頼 郵送返信  
 回収288名 回収率67.4%（前回：回収344名 回収率74.6%）

※今回アンケートでは、サロンの協力員さんも対象に含めたことから、配布依頼した人数が大幅に増加した。

Q1 自分が住んでいる「地域」という場合に、どの程度の範囲をイメージされますか。最も近いもの1つを選んで□に印をつけてください。	合計（人）	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
① 隣近所	17 (33)	6% (10%)	7% (9%)	5% (10%)	4% (10%)	7% (15%)	0% (4%)
② 自治会内の班	26 (36)	9% (10%)	11% (14%)	10% (12%)	0% (3%)	9% (0%)	6% (9%)
③ 自治会	83 (93)	29% (27%)	38% (36%)	22% (19%)	13% (30%)	30% (17%)	28% (30%)
④ 近隣のいくつかの自治会	40 (60)	14% (17%)	9% (13%)	16% (17%)	13% (30%)	16% (22%)	28% (22%)
⑤ 小学校区	84 (77)	29% (22%)	15% (10%)	37% (30%)	58% (27%)	32% (39%)	28% (22%)
⑥ 佐川町全域	28 (36)	10% (10%)	14% (16%)	7% (8%)	13% (0%)	5% (5%)	11% (13%)
⑦ わからない	5 (0)	2% (0%)	2% (0%)	2% (0%)	0% (0%)	2% (0%)	0% (0%)
回答なし	5 (9)	2% (3%)	4% (2%)	1% (4%)	0% (0%)	0% (2%)	0% (0%)

**Q2 あなたの住む地域を教えてください。ひとつ選んで□に印をつけてください。**

- 佐川地区 110人 (135人)  
 斗賀野地区 92人 (115人)  
 尾川地区 24人 (30人)  
 黒岩地区 44人 (41人)  
 加茂地区 18人 (23人)

※以降のアンケートで「あなたの住む地域」とはあなたの住む小学校区でお考えください。

Q3 ここ4～5年、あなたの住む地域の住み心地として最も近いものを1つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
非常に住みやすくなった	10 (17)	3% (5%)	5% (7%)	4% (2%)	0% (3%)	0% (7%)	6% (4%)
やや住みやすくなった	48 (53)	17% (1%)	16% (13%)	21% (18%)	17% (19%)	9% (17%)	17% (17%)
以前と変わらない	181 (209)	63% (61%)	56% (63%)	63% (62%)	75% (70%)	68% (49%)	72% (52%)
やや住みにくくなった	45 (54)	16% (16%)	21% (15%)	12% (15%)	4% (10%)	23% (22%)	0% (22%)
非常に住みにくくなった	1 (1)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	6% (4%)
わからない	3 (8)	1% (2%)	2% (1%)	0% (3%)	4% (3%)	0% (5%)	0% (0%)
回答なし	0 (2)	0% (1%)	0% (1%)	0% (1%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)

Q4 ここ4～5年、あなたの住む地域の安心度として最も近いものを1つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
非常に安心になった	10 (14)	3% (4%)	4% (8%)	5% (1%)	0% (3%)	2% (2%)	0% (0%)
やや安心になった	42 (53)	15% (15%)	14% (14%)	16% (17%)	17% (13%)	7% (15%)	28% (17%)
以前と変わらない	189 (216)	66% (63%)	64% (59%)	65% (66%)	79% (63%)	66% (66%)	61% (65%)
やや物騒になった	37 (39)	13% (11%)	15% (13%)	8% (10%)	4% (7%)	23% (7%)	11% (17%)
非常に物騒になった	1 (0)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	2% (0%)	0% (0%)
わからない	2 (6)	1% (2%)	1% (1%)	1% (2%)	0% (3%)	0% (5%)	0% (0%)
回答なし	7 (16)	2% (5%)	3% (5%)	4% (3%)	0% (10%)	0% (5%)	0% (0%)

Q5 ここ4～5年、あなたの住む地域の活気として最も近いものを1つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
かなり活気がでてきた	12 (15)	4% (4%)	5% (1%)	7% (8%)	4% (3%)	0% (5%)	0% (9%)
やや活気がでてきた	43 (94)	15% (27%)	17% (21%)	16% (28%)	8% (27%)	7% (46%)	22% (30%)
以前と変わらない	90 (101)	31% (29%)	30% (35%)	37% (29%)	33% (30%)	25% (17%)	22% (22%)
やや活気が無くなってきた	107 (83)	37% (24%)	36% (24%)	30% (26%)	38% (27%)	48% (15%)	50% (30%)
かなり活気が無くなってきた	28 (31)	10% (9%)	8% (14%)	5% (5%)	17% (0%)	20% (10%)	6% (9%)
わからない	1 (3)	0% (1%)	1% (1%)	0% (1%)	0% (3%)	0% (0%)	0% (0%)
回答なし	7 (17)	2% (5%)	3% (5%)	4% (3%)	0% (10%)	0% (7%)	0% (0%)

※Q6については、新規の質問ですが、第3期も地域の犯罪についての質問であったため、参考までに前回数値を記載しています。

Q6 ここ4～5年、あなたの住む地域で家屋の点検等を理由に高額な請求を求められるなどの消費者被害がありますか？ひとつ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
ある	21 (43)	7% (13%)	6% (8%)	10% (13%)	4% (10%)	5% (22%)	11% (22%)
ない	179 (220)	62% (64%)	68% (71%)	53% (61%)	71% (73%)	64% (41%)	56% (65%)
わからない	81 (64)	28% (19%)	23% (15%)	33% (23%)	25% (7%)	32% (32%)	33% (13%)
回答なし	7 (17)	2% (5%)	3% (6%)	4% (3%)	0% (10%)	0% (5%)	0% (0%)

Q7 ここ4～5年、あなたの住む地域のご近所づきあいについて、最も近いものを1つ選んで□に印をつけてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
かなり増えてきた。	9 (14)	3% (4%)	3% (5%)	2% (3%)	0% (7%)	7% (0%)	6% (4%)
やや増えてきた。	45 (72)	16% (21%)	17% (19%)	17% (24%)	25% (13%)	2% (20%)	17% (26%)
以前と変わらない。	112 (159)	39% (46%)	41% (47%)	37% (46%)	46% (50%)	32% (41%)	44% (43%)
やや減ってきた。	89 (60)	31% (17%)	28% (18%)	29% (15%)	25% (10%)	48% (29%)	22% (17%)
かなり減ってきた。	20 (19)	7% (6%)	5% (4%)	8% (5%)	0% (10%)	11% (5%)	11% (9%)
わからない。	6 (2)	2% (1%)	3% (1%)	2% (1%)	4% (0%)	0% (0%)	0% (0%)
回答なし	7 (18)	2% (5%)	3% (5%)	4% (5%)	0% (10%)	0% (5%)	0% (0%)

Q8 あなたの地域の住民の方の地域への関心度合いとして、最も近いものをひとつ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
とても関心が高い	13 (14)	5% (4%)	3% (4%)	4% (6%)	0% (0%)	7% (2%)	17% (4%)
やや関心がある	123 (169)	43% (49%)	45% (45%)	51% (50%)	25% (63%)	36% (51%)	28% (48%)
あまり関心がない	117 (128)	41% (37%)	40% (40%)	29% (35%)	63% (27%)	48% (37%)	56% (48%)
非常に関心がない	8 (3)	3% (1%)	3% (1%)	3% (1%)	0% (0%)	5% (0%)	0% (0%)
わからない	20 (12)	7% (3%)	7% (3%)	8% (5%)	13% (0%)	5% (5%)	0% (0%)
回答なし	7 (18)	2% (5%)	3% (7%)	4% (3%)	0% (10%)	0% (5%)	0% (0%)

Q 9 あなたの地域で行事が行われるときの住民の参加状況について最も近いものを一つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
積極的に参加する	22 (23)	8% (7%)	7% (7%)	14% (7%)	0% (3%)	2% (7%)	0% (4%)
どちらかという と積極的に参加する	123 (150)	43% (44%)	35% (38%)	47% (46%)	50% (57%)	41% (49%)	61% (39%)
あまり積極的に参加しない	124 (152)	43% (44%)	49% (50%)	33% (40%)	46% (33%)	52% (37%)	33% (57%)
全然参加が望めない	9 (4)	3% (1%)	5% (0%)	1% (3%)	4% (0%)	2% (0%)	6% (0%)
わからない	7 (8)	2% (2%)	4% (2%)	2% (2%)	0% (0%)	2% (7%)	0% (0%)
回答なし	3 (7)	1% (2%)	0% (2%)	3% (2%)	0% (7%)	0% (0%)	0% (0%)

Q 10 あなたの地域に住んでいる人は、お互いに助け合って生活していると思いますか。最も近いものを一つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
日ごろから助け合っている	70 (93)	24% (27%)	24% (25%)	28% (29%)	25% (23%)	20% (37%)	17% (17%)
時には助け合っている	169 (193)	59% (56%)	55% (55%)	60% (52%)	63% (73%)	64% (56%)	56% (61%)
あまり助け合いはない	33 (39)	11% (11%)	15% (16%)	7% (10%)	13% (0%)	9% (5%)	17% (17%)
まったく助け合いはない	5 (5)	2% (1%)	3% (1%)	1% (3%)	0% (0%)	0% (0%)	6% (4%)
わからない	8 (8)	3% (2%)	3% (1%)	1% (4%)	0% (0%)	7% (2%)	6% (0%)
回答なし	3 (6)	1% (2%)	0% (2%)	3% (2%)	0% (3%)	0% (0%)	0% (0%)

Q 1 1 あなたの地域のボランティア活動への関心度について、最も近いものを一つ選んで□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
関心度は高く積極的に参加する	19 (27)	7% (8%)	6% (5%)	11% (11%)	0% (3%)	2% (12%)	6% (4%)
まずまず関心があり、条件がそろえば参加する	127 (131)	44% (38%)	38% (37%)	52% (35%)	50% (33%)	41% (44%)	39% (57%)
関心はほどほどで、誘われたら参加する	103 (135)	36% (39%)	39% (42%)	25% (39%)	38% (50%)	43% (29%)	50% (26%)
あまり関心が無く、誘われても参加が望めない	27 (35)	9% (10%)	14% (12%)	5% (8%)	13% (10%)	9% (12%)	0% (9%)
わからない	8 (11)	3% (3%)	2% (2%)	3% (5%)	0% (0%)	5% (2%)	6% (4%)
回答なし	4 (5)	1% (1%)	1% (1%)	3% (2%)	0% (3%)	0% (0%)	0% (0%)

Q 1 2 お住まいの地域で住民同士の信頼感や助け合い意識を高めるためには、どのようなきっかけがあれば効果的だと思いますか。大切だと思うものを3つまで選び□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
自治会単位などのお祭りなど親睦の機会をつくる。	123 (152)	16% (16%)	14% (13%)	20% (16%)	24% (27%)	10% (21%)	17% (15%)
趣味を通じたサークル活動を増やす。	36 (68)	5% (7%)	4% (8%)	5% (6%)	7% (6%)	4% (7%)	8% (10%)
運動会などのイベントを行う。	89 (59)	12% (6%)	8% (2%)	13% (8%)	12% (1%)	12% (13%)	26% (16%)
地域の公園や道路の管理を共同で行う。	59 (110)	8% (12%)	7% (11%)	7% (14%)	10% (19%)	10% (6%)	6% (11%)
防災など地域の問題解決に向けて一緒に取り組む。	118 (176)	15% (19%)	18% (18%)	12% (26%)	10% (9%)	18% (14%)	17% (11%)
身近なテーマについて学べる講習会等を行う。	25 (38)	3% (4%)	4% (3%)	3% (5%)	0% (3%)	2% (4%)	4% (7%)
地域の高齢者や子どもの見守りを一緒に行う。	94 (110)	12% (12%)	16% (14%)	11% (13%)	10% (10%)	11% (7%)	6% (7%)
普段からあいさつや声かけを行う。	199 (191)	26% (21%)	27% (29%)	26% (8%)	24% (23%)	30% (27%)	17% (21%)
わからない。	13 (14)	2% (2%)	1% (1%)	2% (3%)	1% (0%)	4% (1%)	0% (2%)
その他（新項目）	3	0%	0%	0%	0%	1%	0%
回答なし	5 (6)	1% (1%)	1% (1%)	1% (1%)	0% (1%)	0% (0%)	0% (0%)

Q13 地域でのあなたのご所属は下記のどれに当てはまりますか。該当するものに□に印をつけてください。(該当するものが複数ある場合は、全てに印をお願いします。)また、ご所属における継続年数で該当するものを1つ選び、□に印をしてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
自治会長	81 (89)	16% (17%)	19% (18%)	11% (16%)	21% (17%)	19% (17%)	13% (22%)
自主防災組織代表者	71 (64)	14% (12%)	17% (15%)	11% (11%)	10% (15%)	16% (8%)	16% (14%)
民生委員・児童委員	53 (47)	11% (9%)	11% (10%)	10% (8%)	10% (9%)	12% (15%)	6% (3%)
福祉委員	55 (73)	11% (14%)	12% (18%)	11% (13%)	10% (9%)	12% (13%)	3% (11%)
ふれあいサロン	43 (76)	9% (15%)	13% (20%)	10% (17%)	0% (2%)	4% (8%)	0% (3%)
百歳体操お世話役	36 (50)	7% (10%)	6% (8%)	10% (14%)	8% (6%)	3% (8%)	10% (6%)
あったかふれあいセンター	29 (9)	6% (2%)	6% (1%)	5% (4%)	8% (2%)	6% (0%)	3% (0%)
集落支援員	13 (6)	3% (1%)	1% (0%)	3% (2%)	3% (4%)	3% (2%)	10% (0%)
各地区地域づくり団体等	68 (71)	14% (14%)	8% (6%)	12% (10%)	26% (32%)	19% (25%)	26% (33%)
その他	32 (28)	6% (5%)	6% (5%)	8% (6%)	3% (4%)	4% (6%)	13% (8%)
未回答	19 (0)	4% (0%)	2% (0%)	9% (0%)	3% (0%)	1% (0%)	0% (0%)

Q 1 4 - ① あなたの年齢と性別を教えてください。年齢は数字を入れてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
男	148 (156)	51% (45%)	51% (46%)	41% (39%)	67% (57%)	57% (41%)	72% (65%)
女	125 (163)	43% (47%)	46% (47%)	49% (53%)	29% (27%)	41% (56%)	22% (30%)
回答なし	15 (25)	5% (7%)	3% (7%)	10% (8%)	4% (17%)	2% (2%)	6% (4%)

Q 1 4 - ② あなたの年齢と性別を教えてください。年齢は数字を入れてください。 (回答者年齢構成)	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
20代	0 (2)	0% (1%)	0% (1%)	0% (1%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)
30代	1 (5)	1% (2%)	0% (1%)	1% (3%)	0% (0%)	0% (2%)	0% (0%)
40代	10 (17)	3% (5%)	3% (2%)	4% (9%)	8% (7%)	2% (5%)	0% (0%)
50代	25 (22)	9% (6%)	9% (7%)	9% (6%)	4% (0%)	7% (7%)	17% (13%)
60～65歳	26 (70)	9% (20%)	7% (20%)	10% (17%)	21% (27%)	5% (24%)	11% (22%)
66～70歳	64 (74)	22% (22%)	24% (22%)	16% (18%)	21% (23%)	30% (24%)	28% (26%)
71～75歳	63 (66)	22% (19%)	23% (19%)	15% (20%)	17% (23%)	34% (15%)	28% (22%)
76～80歳	53 (46)	18% (13%)	21% (19%)	20% (10%)	21% (3%)	14% (12%)	6% (13%)
81～85歳	21 (12)	7% (3%)	7% (3%)	9% (6%)	4% (0%)	7% (2%)	6% (0%)
86歳以上	9 (2)	3% (1%)	4% (0%)	5% (1%)	0% (0%)	0% (2%)	0% (0%)
未回答	16 (28)	6% (8%)	3% (7%)	11% (10%)	4% (17%)	2% (5%)	6% (4%)

Q15 あなたの職業に該当するもの1つに印をつけてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
公務員	10 (11)	3% (3%)	3% (4%)	4% (3%)	0% (3%)	0% (0%)	17% (0%)
団体職位（農協等）	13 (6)	5% (2%)	7% (0%)	3% (4%)	4% (0%)	2% (0%)	0% (4%)
会社員・役員	30 (37)	10% (11%)	10% (8%)	9% (13%)	8% (13%)	13% (15%)	17% (4%)
パート・アルバイト	26 (24)	9% (7%)	7% (5%)	10% (5%)	21% (20%)	7% (2%)	6% (17%)
自営業	41 (48)	14% (14%)	15% (13%)	11% (11%)	4% (10%)	26% (22%)	11% (22%)
家事専業	45 (62)	16% (18%)	14% (20%)	19% (19%)	17% (10%)	15% (22%)	11% (4%)
無職（元公務員）	28 (25)	10% (7%)	11% (7%)	11% (10%)	8% (0%)	4% (2%)	11% (13%)
無職（元団体職員）	14 (16)	5% (5%)	3% (5%)	7% (8%)	0% (0%)	9% (0%)	6% (0%)
無職（元会社員・役員）	45 (51)	16% (15%)	17% (16%)	13% (10%)	25% (17%)	11% (15%)	17% (26%)
無職（元パート・アルバイト）	7 (11)	2% (3%)	5% (4%)	1% (3%)	0% (3%)	2% (2%)	0% (0%)
無職（元自営業）	8 (13)	3% (4%)	5% (6%)	2% (2%)	0% (0%)	2% (7%)	0% (0%)
未回答	21 (40)	7% (12%)	4% (10%)	10% (10%)	13% (23%)	9% (12%)	6% (9%)

Q16 あなたのお住まいの地域では、地域として取り組むべき課題として、どのようなことがあると思いますか。大切に思うものを4つまで選び口に印をつけてください。	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
地域の防犯、治安、交通安全の向上	96 (125)	10% (12%)	13% (14%)	9% (11%)	13% (6%)	8% (10%)	3% (12%)
自主防災組織活動（防災・防火、災害時の対応）	138 (168)	15% (16%)	13% (18%)	16% (14%)	11% (17%)	17% (13%)	18% (14%)
高齢者・しょうがい者への支援（居場所づくり・買い物支援など）	126 (140)	13% (13%)	14% (11%)	13% (12%)	12% (17%)	13% (13%)	10% (19%)
介護予防・健康づくり	70 (99)	7% (9%)	8% (10%)	8% (8%)	7% (6%)	5% (8%)	6% (13%)
地域コミュニティーづくり（住民同士の絆づくり）	123 (147)	13% (14%)	16% (14%)	13% (15%)	5% (11%)	11% (12%)	11% (10%)
自治会組織の活性化	75 (71)	8% (7%)	9% (8%)	9% (7%)	10% (3%)	5% (4%)	4% (5%)
子育ての支援、青少年の健全育成	30 (58)	3% (5%)	3% (5%)	4% (7%)	1% (4%)	1% (4%)	6% (5%)
人口減少対策（若者定住・結婚の機会づくり等）	94 (114)	10% (11%)	8% (8%)	9% (11%)	16% (19%)	11% (14%)	18% (6%)
地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	47 (35)	5% (3%)	3% (2%)	6% (4%)	7% (4%)	7% (6%)	6% (0%)
地域の特産や産業振興等の地域おこし	30 (52)	3% (5%)	2% (1%)	2% (6%)	4% (9%)	5% (9%)	7% (5%)
ごみの減量、資源化、緑地保全・地域美化等の環境活動	34 (43)	4% (4%)	4% (4%)	3% (5%)	5% (2%)	3% (3%)	3% (3%)
スポーツ・文化活動の活性化	17 (18)	2% (2%)	2% (2%)	2% (1%)	1% (1%)	3% (1%)	0% (5%)
移動手段の確保（新項目）	63	7%	5%	7%	8%	10%	7%
その他	4 (6)	0% (1%)	0% (0%)	0% (1%)	0% (0%)	1% (1%)	1% (0%)
特に問題や課題はない	3 (7)	0% (1%)	0% (1%)	1% (1%)	0% (0%)	1% (0%)	0% (1%)

Q17 地域でのあなたの立場(役職)で課題に感じることは何ですか。下記で該当するものすべてに印をつけてください。(複数回答可)	合計 (人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
仕事等で忙しく役割を十分果たせない。	64 (87)	7% (8%)	6% (7%)	8% (8%)	11% (9%)	9% (11%)	2% (14%)
後継者がいない。	114 (117)	13% (11%)	10% (11%)	15% (11%)	17% (15%)	12% (10%)	15% (13%)
書類作成などが煩雑。	17 (32)	2% (3%)	2% (3%)	1% (3%)	2% (1%)	4% (5%)	2% (4%)
地域を知らない。	22 (34)	2% (3%)	3% (3%)	4% (4%)	2% (1%)	1% (2%)	2% (6%)
困ったときの相談先がない。	8 (13)	1% (1%)	1% (2%)	2% (1%)	0% (0%)	1% (1%)	0% (0%)
高齢化が進んで、活動が停滞している。	150 (134)	16% (13%)	15% (14%)	16% (12%)	20% (13%)	19% (14%)	19% (11%)
自治会に入らない人が増えている。	62 (58)	7% (6%)	9% (6%)	5% (6%)	2% (3%)	8% (8%)	6% (3%)
地域に関心のない人が増えている。	84 (109)	9% (11%)	10% (12%)	9% (10%)	8% (13%)	8% (9%)	12% (7%)
地域のつながりが弱くなっている。	144 (135)	16% (13%)	15% (13%)	16% (13%)	14% (11%)	17% (13%)	17% (13%)
話し合う機会がない。	63 (58)	7% (6%)	9% (5%)	7% (6%)	8% (5%)	4% (5%)	2% (6%)
地域の助け合いが少なくなっている。	62 (85)	7% (8%)	7% (8%)	6% (9%)	6% (10%)	7% (7%)	10% (6%)
取り組みを行うための予算が不足している。	21 (40)	2% (4%)	2% (2%)	2% (5%)	2% (5%)	3% (4%)	2% (6%)
個人情報保護が活動の障壁になる。	60 (69)	7% (7%)	7% (7%)	6% (6%)	9% (8%)	4% (7%)	10% (7%)
地域で人が集まる施設がない、または十分ではない。	21 (32)	2% (3%)	4% (5%)	1% (2%)	0% (4%)	1% (2%)	0% (0%)
活動を周知する方法がない。	5 (8)	1% (1%)	1% (1%)	0% (1%)	3% (0%)	0% (2%)	0% (0%)
その他	15 (23)	2% (2%)	1% (0%)	3% (4%)	0% (4%)	1% (3%)	2% (4%)

Q18 あなたの役職上感じる、地域の課題を克服するために必要があると思うことは何ですか。下記の中から大切だと思うものを3つまで選び□に印をつけてください。	合計(人)	%					
		全体	佐川	斗賀野	尾川	黒岩	加茂
後継者の育成。	114 (127)	17% (16%)	15% (17%)	17% (16%)	20% (14%)	13% (13%)	24% (19%)
若者の転入・定住。	75 (76)	11% (9%)	6% (6%)	10% (10%)	15% (18%)	18% (12%)	20% (1%)
高齢になっても元気で活動できる健康づくり・介護予防の取り組み。	111 (144)	16% (18%)	16% (17%)	19% (19%)	14% (21%)	14% (18%)	13% (15%)
地域の活動に予算をつける。	31 (43)	4% (5%)	4% (6%)	5% (4%)	5% (8%)	7% (5%)	2% (6%)
自治会組織への加入の徹底。	32 (47)	5% (6%)	6% (7%)	2% (6%)	3% (1%)	6% (8%)	4% (0%)
子どもの頃から地域に愛着や誇りを持てるような取り組み。	53 (84)	8% (10%)	9% (9%)	7% (12%)	5% (10%)	8% (12%)	7% (15%)
住民同士の仲がよくなる活動・取り組み。	97 (107)	14% (13%)	17% (17%)	15% (11%)	12% (11%)	12% (10%)	2% (11%)
世代間交流の取り組み。	56 (67)	8% (8%)	8% (7%)	9% (11%)	3% (7%)	9% (7%)	13% (8%)
行政と地域の人的物的連携・協働。	49 (53)	7% (7%)	7% (6%)	7% (6%)	12% (8%)	5% (7%)	4% (9%)
人が集まりやすい集会所などの整備。	21 (31)	3% (4%)	5% (6%)	1% (3%)	2% (0%)	3% (5%)	0% (2%)
地域お世話役さんの事務や活動を支援してくれるセンター設置、または、センターの機能の充実。	24 (25)	3% (3%)	3% (2%)	4% (4%)	2% (1%)	2% (5%)	7% (4%)
移動手段の確保(新項目)	23	3%	3%	3%	7%	4%	2%
その他(新項目)	4	1%	0%	1%	0%	1%	0%

## 佐川地区の方からのご意見

- ◆私の地区では、ゴミ収集場が減っています。高齢者（独居）の場合は、町で収集にきていただくようになっていますが、独居でない高齢者でも、自分で何とか近くに収集場所があれば持って行けます。できるだけ自分で持って行ける様に、近くにゴミを収集する場所を作って欲しいです。  
（佐川地区80歳代女性）
- ◆（人が集まりやすい集会所などの整備）について 雑談おしゃべり会 特に女性のニーズは高い。  
（佐川地区80歳代男性）
- ◆私達の集会場は古く川淵で危ない場所にあります。何とかならないでしょうか？防災（避難所）には適さないと思いますが。集会場は新丁です。（佐川地区70歳代女性）
- ◆地域の課題：人口減、高齢化、少子化 地域への思い：牧野富太郎など多くの偉人を育てた佐川町、なぜ偉人を輩出してきた町なのか、全てのことが重なり合って今の佐川町があると思います。今一度、その背景を探り次の世代につなげたいものです。 将来の地域増：お年寄りが最後まで元気でいられる町。子ども達が佐川で生まれて良かったと思える町。 取り組み：世代間交流が出来る（伝承）活動。学問の町の復活。地域おこしとして人々を呼び込めるような町全体の観光資源化（地形・地質・植物・人々の生活のかかわり） 要望：しっかりとしたアクションプランの策定と実行 課題と夢に向けて！！（佐川地区60歳代男性）
- ◆Q17：行政職員の自治会活動への考えに積極性がない。地域協力隊の人達も感心が少ない。（自治会への働きかけが必要）・アパート住民にも転入の時に役場、アパート管理人にも要請を強めてほしい（佐川地区80歳代男性）
- ◆若者の定住 ①通勤圏域（高知市）への時間の短縮＝33号線のバイパス ②企業の誘致 ③一次産業の活性化、6次産業まで。（佐川地区80歳代男性）
- ◆高齢化による家庭数の減少。それによる労働力の低下。（佐川地区70歳代男性）
- ◆防災への取り組み（避難訓練）災害がおきた時のシミュレーションをしておく。（不安に思う）高齢者が多いので。（佐川地区50歳代男性）
- ◆お世話になっています。地域のことに不慣れで十分な回答にならずすみません。  
（佐川地区60歳代女性）
- ◆自治会をしっかりとした組織にすることを行政として考えてほしい。（佐川地区70歳代男性）
- ◆年寄りのくせに用事をかかえていて、めったにない会（見守り）にも都合が悪い日が多くて申し訳なく思っています。中々、代わりも居ないだろうとするずる続けていますが、きちんとした方が居たら首にして下さると町の方々にもよろしかろうと・・・。（佐川地区70歳代男性）
- ◆地域共生社会が叫ばれて久しいですが、理念倒れにならないように地域づくりを進めていけたらと感じています。地域共生とは、困った時に専門家に助けてもらうだけでなく、地域でともに支え合って暮らしていきましょうということだと思っています。誰かに助けてもらうだけでなく、誰もが誰かに必要とされて、役割をもつことで、しあわせな地域ができると思っています。予算もあればありがたいですが、予算の無い中でも、つながりのできる仕組みづくりを進めていくことが大切だと思っています。  
（佐川地区50歳代男性）
- ◆自主防災組織役員の高齢化（青年層役員育成：後継者の働きかけがむずかしい）←強制は出来ない。権利・義務意識の多様化。（佐川地区70歳代男性）
- ◆若い人に積極的に行事に参加してもらって責任者になって活動していただきたい。  
（佐川地区60歳代女性）
- ◆高齢化社会といっても自分のことはできるだけ自分で困った時は友人や近隣の人たちに助けてもらいたい。いろんな施設の建設は今後の維持管理に多額の費用を必要とするので、必要性を十分に検討して取り組んで欲しい。（高齢者に特化してはいけない）なんと言っても子どもさんを育てやすい町になってほしいです。他県では、子どもの成長に現金給付でなく日常の生活費（病後児保育の充実、医療や給食の無料化、進学への補助）への補助があります。佐川町は給食費は無料ですが、こどもを育てたいと思う施策を若者や子育て中の方の意見を聞いてよい策を検討してください。  
（佐川地区70歳代女性）
- ◆独居老人が増え、人口が減り活気がなくなるので人口対策が一番。しかし打つ手はない。  
（佐川地区70歳代男性）

- ◆地域で障害者が生活していくための支援が少ない。障害があっても生活しやすい佐川町であってほしい！（佐川地区70歳代女性）
- ◆高齢化がまだまだ続く中、ひとりぼっちではなく人と人との交流、ふれあいができる場所づくりが必要だと思います。少子化においては、家庭を孤立させないように地域でのかわりができるようなしくみがあればいいように思います。（佐川地区60歳代女性）
- ◆地域の高齢化が進み、若者の減少で集会をしても出席者が少ない。若い世代が居住できるような魅力有る地域にするにはどうしたらよいでしょうか？佐川町では中央、西部は福祉施設が充実しているが、駅周辺や東部にも施設等が欲しい。（佐川地区80歳代女性）
- ◆高齢になってきたけど、後継者がいない。自治会活動が弱々しくなっている。役員選出が難しく、選出されるのが嫌で総会等に参加が少なくなっている。高齢化が進み行事への参加が少なくなっている。福祉委員を交代してくれる人がいない。（佐川地区70歳代女性）
- ◆集会所が遠く、雨の時など不便。（中央集会所）。町内（町中）に集まれる場所があれば体操の参加者も増えるのではないかと思います。災害時に避難するには集会所では不安。（佐川地区70歳代女性）
- ◆前にもあったサンプラザを「デイサービス」にするのはどうか？車を何台もおける広い駐車場には「特別養護老人ホーム」をつくらうか？国道33号線近くにセブンイレブンを作りたい。高知県民、他の市町村も思っていることがあります。「TV朝日」を開局してほしい。ネットでは莫大なお金がかかるとは言いますが、「さんさんテレビ」もお金がかかっています。他の市町村市長や町長などと話し合い、県の予算で「TV朝日」を開局してください。（佐川地区40歳代男性）
- ◆Q17：忙しいを口実に参加しない。今までに私がやっている様な事を誰もやったことがなく、私が前に出るとやっかみがあるが口をつく人間は影ではいくらでも言い活動はしないが私は何とか活動をやらざるを得ない状態である。Q18：平均50歳位の親が私欲のみに走りボランティア等人のためになる（する）事を教えていない。Q19：行政、社協等ペーパーボランティアにならないよう行政、社協も身近に汗をかく様にする。行政、社協は報酬がないことは行政が許さないとの事等を平気で口にする。行政側の人間がいる限りはいくら言っても無理と思う。我々と同じように時間関係なしに夜中でも必要であれば活動する指導を行政も感じ、行動を願いたい。私は地区で22時23時に連絡があれば現場に伺います。（佐川地区70歳代男性）
- ◆年配の方で色々協力（地域）しているけど気に合う人には挨拶や言葉をかけているけど残念ながら自己主張が強いので中々挨拶言葉をしない事もあります。やはり上に立っている人は皆地域の方に積極的に前向きにしてほしいと思います。（佐川地区70歳代男性）
- ◆アパートの住人が自治会への参加が少ない。自治会の住人がだんだん歳をとって色々な自治活動に参加できなくなっている。一斉清掃の時などは、今の人数で手いっぱい今後住人が歳をとってだんだん出来なくなっております。アパートの住人の人も水を使うので溝掃除などは出てもらいたいです。自治会に入らなくてもいいのですが、地域の活動には町内在住ならば最低の事はやってほしいです。（佐川地区65歳代男性）
- ◆Q12：家庭訪問を多くして会話を楽しめる町づくり Q16：町政他の無記名の意見箱を設置する。（役場、スーパー、学校に置く） Q19：70歳まで仕事を行う方（佐川地区70歳代男性）
- ◆先ず、温かい「あいさつ運動」から。会釈でも良い。地域の親睦のために。冗談だけれど蟻だっけ行き交わす時、みんな会釈しているよね。ちょっと見てごらん。（佐川地区80歳代女性）
- ◆Q4：近年、高齢者をターゲットとした悪質契約勧誘や悪質押しつけ販売勧誘が増加し心配です。Q5：一部の人の活動の様子がしている。全体としては少し心配している。高齢化が進んでいる事も原因の一つとして感じている。Q6：私の知る限りでは被害にあったこと聞いた事はありません。しかし一年半ほど前に突然私の自宅へ来てお宅の家の写真を撮った。見てみたら瓦がひどい状態になっている。すぐに直しませんか？このままにしておくで大変なことになると断ってもせめて見積もりだけでも作らせてくれ、とかなりしつこかった。最後は当方もやや声を大きくして怒るように言ってやっと帰らせた。後で地域の業者に点検してもらったが悪くなっている箇所はどこにもなかった。（自宅は日本瓦）最近では昨年12月の雪害の樋修理の業者見積もりが業者間で余りにも違い過ぎ驚いた事でした。（相談に来た数人の知り合いの話ですが） Q7：昔から住んでいる地域の者と新しく地域に入ってきた（家の新築などで）ミニ団地の若い世代の者等との交流が少なくなっている Q8：関心があるのは一部の人のように感じる。高齢者と若い世代の方々に多いように感じる。Q9：参加に積極的な人は一部の人のように思われます。Q10：限られたせまい範囲内（例えば自治会、単位など）では、おたがいに関心をもって助け合っているか。Q11：この項目も一部の人のように感じる。他の大勢の方々はどちらかといえばこちらと感じている。Q12：コロナ禍の影響により今は難しい。大きな行事

- や活動など一足飛びにやろうとせず、まずは気の合った者同士や地区単位での親睦、飲み会でもよいと思います。（花見など）ここからがスタートと考えています。どんな小さな事でもかまいませんので、日頃の交流が最も大切だと思っています。Q16：防犯、防災対策は大切な事であるが、まずはこの活動をするための基礎づくりから始めないとここまで手が届かないと思います。文教の町佐川を復活させたい。今はやや名前負けしている感がある。Q17：個人情報保護については条例の変更を検討してもらいたい。今の佐川町の制度では個別に提供をお願いしても町職員の立場では情報提供はできない事は理解しています。やむを得ないという感じですね。条例で定められているので。少ない人数ではいくら熱心に取り組んでも限度があります。やがて力尽きてしまいます。とにかくできるだけ多くの人達に関心を持ち、どんな小さな事でもかまいませんので、個人個人のできる範囲で活動する。参加していくことが大切であると痛感しています。Q19：感覚的なものですが、地域の世話役と行政とで問題のとらえ方対応、取り組み等をはじめとして、やや視点のズレを感じます。（抽象的な表現で申し訳ありません）双方の意思疎通を図っていく事が大切だと考えています。・いくつかの質問項目の中に出てきますが、「後継者の育成」が最重要課題と感じています。（佐川地区70歳代男性）
- ◆Q13：日常的な挨拶等、声を掛け合い、話しやすい関係作りを意識して生活する。（佐川地区70歳代女性）
  - ◆企業誘致などして働ける職場を増やして欲しい。（経済的安定）・若者の定住によって子ども（乳幼児含む）から高齢者までが仲良く楽しく暮らしていける地域になってほしい（子ども達が外で元気に遊んでいる様子）・みんなで支え合い、助け合って暮らしていける地域共生社会。・若い人達が夢をもって暮らしていける町になって欲しい。（佐川地区70歳代男性）
  - ◆Q17：部落としての集会所がない為、何かあればすぐ集まるという日常が無い中、住民同士のコミュニケーション作りもできない、場所ときっかけがあれば言葉がけ、仲間意識が生まれるのではないのでしょうか？集会所のある自治会がうらやましいです。（佐川地区70歳代女性）
  - ◆一人暮らしの方が亡くなり空き家が多くなった。・高齢のため助けてあげたくても自分のことで精一杯。・田植えの時期以外、田や畑に耕作している人が少なく、万一熱中症や具合が悪くなった時が心配・道路の白線が消えている所が多い。・猪の被害で耕作意欲がどんどんなくなっている。（佐川地区70歳代女性）
  - ◆子ども達が地域の人達と関わる機会が少なくなっていると感じる。地域のボランティアイベントなどで多世代で交流できる機会を子ども達と一緒に参加していきたい。（佐川地区40歳代女性）
  - ◆Q17：地域の高齢化。コロナのため、集まる事が少なくなり、地域の集まりが弱くなっている。（佐川地区50歳代女性）
  - ◆・外灯の数がまだ少ないと感じる。・停電時にも点灯する外灯がほしい。左記停電補償の外灯取り付けの補助金の充実を希望。・柳瀬川の柏原から虎杖野付近の堤防が西側に比べて東側が低いので、増水時に田んぼ、道路向けに川の水が越すことが考えられるので東側の堤防のかさ上げをしてほしい。（佐川地区60歳代男性）
  - ◆高齢になると、足腰に疼痛があり、免許証も返納、移動手段が一番困っています。タクシーも早朝、今すぐとはつながらなくて・・・外出時間も余りなくなるのではないのでしょうか？私ももう目の前に来てことで、とっても不安で心配です。（佐川地区70歳代女性）
  - ◆・若い家族が増える事は良いことであるが、高齢者との交流が少ない。関心が無い。Q11：子どもの時からボランティア活動に関心を持つ教育が必要。Q17：自治会の役員が百歳体操とかサロンの主旨とか必要性がわかっていない。ボランティアで世話をしてくださる人が居なくて困る。Q19：お忙しい中、色々と考えて下さって感謝しています。佐川の住民が少しでも暮らしやすくなるようお力添えください。（佐川地区90歳代女性）
  - ◆Q18：空き家対策 Q19：高齢化にともなう身近なコミュニティ活動の調査・コロナ禍以前に行われていた行事の継続・ぐるりんバスの活性化（利用状況の現況）（佐川地区60歳代男性）
  - ◆上郷のローソンは東からきた車が赤線のようにローソンに入るため、永野方面からきた車と衝突しそうになる。（佐川地区70歳代男性）
  - ◆挨拶など、声かけが少なくなったように感じます。子どもから高齢者まで誰もが、挨拶や気軽に話しが出来るように、また地域の子どもの成長見守り、手助けをしあったり、高齢者や独居の方々が元気で生活できる、地域になってほしいです。（佐川地区50歳代女性）

## 斗賀野地区の方からのご意見

- ◆この三年間、コロナの流行で用がなければお家に行ったり話をするのはひかえてきました。6月になってやっと自由になって外出の機会が増えてきました。(斗賀野地区70歳代男性)
- ◆私達の所は皆高齢になり若い人が少ないのが大変です。(斗賀野地区80歳代女性)
- ◆部落で百歳体操をするようにして欲しいです。(斗賀野地区80歳代女性)
- ◆自治会やPTAなど組織の運営方法について最近、報道や世間話でよく耳にするようになった。議員についても役職が昔は名誉職だった面があったが、今は違っていると思う。それと共に必要か不要かの議論も始まった！ちょうど過渡期なのだと思うが、自分自身、順番で初めて自治会長(40世帯)を今春からやってみて、悪い印象はなく、忙しいが良い経験をさせてもらっていると感じている。(まだ二ヶ月と少しなので、終わってみないと分からないが) 選任方法として、順番、ジャンケン、くじ引きは良いと思う。(斗賀野地区60歳代女性)
- ◆年々人が少なくなり高齢化が進んでいる。この地域では転入などで子育て世代も増えてはいるが、それでも保育園、小学校の児童数は目にみえて減っている。現在、現役で活躍されている方々も年配の方が多く5年、10年先は不安がある。地域に移って来られた方たちと触れあう場がなく、自治会内がせいぜいであるが自治会に入らない人も増えている。住民同士が触れ合える様な取り組みが出来れば良いと思う。(斗賀野地区70歳代女性)
- ◆なぜ、私の元にこのアンケートが来たか分からない。(斗賀野地区50歳代男性)
- ◆斗賀野地区は環境問題等にも特に熱心な地域だと思います。子どもたちのふるさとに対する教育も佐川町として大変熱心に取り組んでおり、子ども達の意識も変わってきている様に感じられます。地域の中で大人も子どももお互いに声を掛け合いながら生活することは、特に大事なことだと感じています。人が人を大切に思うことが、安心して暮らせる第一だと思います。自分の地域が誇りに思えるように積極的に人の中にも出ていき元気で暮らして行ける健康も保ちたいものです。(斗賀野地区70歳代女性)
- ◆買い物をする場所が近くにない。(斗賀野地区50歳代女性)
- ◆自治会に参加する40代以下の人が少ない。確実かつ急速に進む少子高齢化の中で、地域の助け合いは今以上に大事になるが、今のままだと若者世代の関与は限定的だと思う。民生委員・児童委員は正直ほぼ機能していないのではないかと困っている人が助けを求める受け皿だと思うが、どれだけ連絡がきているのか。SNSやチャットでのコミュニケーションが主の時代にとって、電話や直接会う以外の方法なども検討すべき。また参加したくなるようなイベントごとを増やしたい。(斗賀野地区 男性)
- ◆若い人達は特にめんどうと思っただけで気持ちがない余裕がない年配の方も、自分の仕事で余裕がないですなあ。むづかしいね。(年齢性別不明)
- ◆高齢者でも活用可能な電子掲示板システム(自己負担分アリで！)(斗賀野地区60歳代男性)
- ◆思っていることをうまくまとめることができませんので、ずらずらと書きます。・私の立場(児童委員)でこの佐川の子ども達の健やかな育ちのお手伝いができればいいなという思いで携わって参りました。・表面上の健全育成だけでなく、さまざまな理由で生きづらさを抱えた家族(家庭)を支えることが出来たらと思っていますが独りよがりな考えや行動で、行政の方やそれこそ要支援者に迷惑や不快な思いをさせたことが多々あるのだろうと反省しています。・「あったか」があることで地域の皆さんがすいぶん助けられていると実感しています。・社協さんも頑張っているといつも感謝しています。コロナ禍でのその存在は大きいです。・家庭、地域、行政がうまく繋がって困難にあった時、「助けて」という声が出しやすくその声をちゃんと今以上に聞く事の出来る佐川町であってほしいと願っています。☆私達民生委員は守秘義務があります。どうぞ情報を共有させてください。行政が上ではなく横の繋がりができますように。(斗賀野地区60歳代女性)
- ◆各施設(特に町営住宅戸数)が佐川地区は集中している中で、他地域の活気を保っていくのは難しいと思う。(斗賀野地区50歳代女性)
- ◆斗賀野は移住希望者が多いが住宅がない。空き家活用(対策)に行政がもっと積極的に取り組んで欲しい。・高齢者同士が持っている力を出し合い、協力して暮らしていく、グループホームが斗賀野に欲しい。そんな場所が集活センター周辺にあれば最高！・自分の健康づくりや介護予防などだけでなく、人間はいくつになっても人の役に立つ、人に喜んでもらうことが励みになる。高齢者活動(対策)の中にそんな視点(内容)を取り入れる。(斗賀野地区70歳代女性)
- ◆他に思いつく事はありません。(斗賀野地区60歳代男性)
- ◆百歳体操やサロンをやっているが、新規の人の参加がない。少し若い人達は知らないのか？途中からの参加はいやなのか？10年位やっているが、減っていくばかりです。(あったかセンターが充実して

- きた証でもあるかと思いますが) 今後はあったか主催のサテライト的なことになっていくのでしょうか? (斗賀野地区70歳代女性)
- ◆地域全体が高齢化で、将来深刻な問題。(後継者も別世帯を持ち、町外で生活が大半) 田んぼや畑が広域に多数あるが、持ち主も高齢化で将来は、荒れ地や放棄地になる可能性も。町外や県外から移り住みたい場所(宅地に拡大とか)にしていく必要があると思う。(斗賀野地区50歳代女性)
  - ◆Q17: 100歳体操の参加者激減。公民館の鍵を預かっている以上責任があり歳と共に負担を感じているが、私が辞めたら後やってくれる人はいない。(斗賀野地区80歳代女性)
  - ◆Q17: 立場上(役職上)では、特に感じていないが、参加者を増やす努力をしなければいけないと感じている(百歳体操)。体操の場は情報交換の場ともなっているし、安否確認もできるので。Q19: 公民館が狭いので拡張できればよいと思う。自治会総会等に一家2名参加で交流できていたが、新住宅(居住者も)増えて、各家一名の参加状態です。コロナ禍の三年間は、密を避けて一家一名参加だった。けれど今後は以前の様に交流するのはとても狭い高齢化のこともあり備品(テーブル、イス)補充できればよいが狭くてテーブルが置けないのも難です。(斗賀野地区60歳代女性)
  - ◆現職は担い手がないという事で半ば無理矢理引き受けた経緯がある。元々あまり近隣の人々を(親類以外は)知らないのどの程度活動したら良いかも分からない。町外で仕事をしており出張も多い為、災害などいざという時は他の役員のお世話にならないといけない。心苦しく思っている。(斗賀野地区60歳代男性)
  - ◆Q17: 活動を知っていても種々の理由で参加しない。できない方がいる。Q19: 日々の業務で大変とは思いますが、議員の方々も含め具体的にどのように支援されているのか? 活動は? など接する機会がない多くの住民にとっては関心が無く、声を寄せることも少ない方向にいつてる気がします。・空き家対策、買い物難民、対策なども取り組んでいただきたい。(斗賀野地区70歳代男性)
  - ◆地域にある神社等の行事(清掃等)を継承していく中で高齢者、若者の交流が生まれ、地域の交流が生まれる。こういう機会は是非続けたい。(斗賀野地区80歳代男性)
  - ◆地域のイベント参加者を増やしていきたいが、若者や後継者がまだまだ不足している。気軽に参加しやすい取り組みをしていくことで、マンパワーの確保につなげていきたい。(斗賀野地区60歳代男性)
  - ◆世話役している人の高齢化がすすみ、固定化している。若い人は仕事があり忙しい。交流しながら次へバトンタッチしていくしくみが必要だと思う。(又、若い人の所得が少なく、仕事を休んでまでのボランティアは無理だと思うが) 長期的にいうと、保育所の保護者会活動や小、中のPTA活動を活発にしていこうと、交流が生まれるし、地域に必要とされる喜びも感じられるのではと思う。(斗賀野地区70歳代女性)
  - ◆Q17: 農業の補助事業、集落営農を通じ協力者が増えた。特に草刈り等の作業への協力が増えた。(斗賀野地区70歳代男性)
  - ◆Q17: 住民の方にも色々な状態の方もいてどこまでふみ入れて良いかが困ります。(斗賀野地区60歳代女性)
  - ◆コロナ禍により人のつながりが希薄化しています。人の繋がり、1人ひとりの幸福感と密接であるにとどまらず、地域地域を守り、次世代につなぐための思い出や夢を語り、共感を広げる場でもあります。行政などの縦割りのごとの関わりではなく、地域に関わる部署間での連携も大切だと感じます。連帯感より個人主義、地域よりネット社会ではありますが、地域で楽しく、有意義なつながりづくりができるよう、応援できる仕組みが出来ればと願っています。(斗賀野地区50歳代男性)
  - ◆地域で子どもの姿を見る事が少なくなっていると同時に高齢化が進んできている事を実感しています。このままでは地域がさびれ、地域さえもなくなっていくように思い危機感さえも感じるようになってきています。農業の後継者も望めず、田畑の管理も難しくなっているが現状です。若者が安心して生活できる、高齢者、子ども達が安心して暮らせる地域、町になってほしいと思います。佐川町は子ども、お年寄りには手厚く支援していただいていると思います。町だけでなく、県や国の対応が大事だと思います。(斗賀野地区60歳代女性)
  - ◆Q17: 民生委員さんと連絡をとり合いながら、少しでもお役にたてばと思いながら活動と言えるほどではありませんがしています。十分なことはできていません。(斗賀野地区70歳代女性)
  - ◆コロナ禍で会合や親睦会が激減し、自治会員の絆が希薄になっている。機をとらえて、活性化を図ることが肝心。自治会地域の上半分の世帯が簡易水道を余儀なくされている。町内でも最大規模の施設で月1回の清掃や8月の全員参加の清掃は高齢化が進み、人手不足などで運営が危機に瀕している。町の建設課や要職の方に書面や対面にて要望してきたが一向に進んでいないのが現状です。当時の建

設課長から「簡易水道調査協議会？」を立ち上げて検討するとの話もありました。「水」は命です。早急な対応をお願いしたいです。（斗賀野地区70歳代男性）

- ◆地域の小売店などが少なくなり、高齢者や障害者にとって、買い物が大変不便（困難）になってきた。電話一本で買い物依頼ができるシステムはできないでしょうか。（斗賀野地区70歳代男性）
- ◆Q17：集活は農業支援を中心にやっていますが、地域の事にも力を入れられないと思う毎日です。Q19：何を行うにしても先やりがないとできないと思います。リーダーは大事である。（斗賀野地区60歳代女性）
- ◆町道の草刈り等を個人としてボランティアでやってくれている方がいます。たいへんありがたいことで頭が下がります。そういう方にペットボトルのお茶1本、手ぬぐい1つでもお礼、感謝の気持ちをしてお返しする事ができたらいいなと日頃から思っています。（斗賀野地区60歳代男性）

## 尾川地区の方からのご意見

- ◆尾川地区デイサービスなどがあればいいのにね。（尾川地区70歳代女性）
- ◆尾川ではあったかひまわりのスタッフの方が高齢者の方々に声をかけてくれています。送迎もしてくれるのもっと気軽に皆さんお世話になれば良いとおもうのですが・・・。（尾川地区70歳代女性）
- ◆高齢化が急増、人口減少 少子化問題（尾川地区70歳代男性）
- ◆福祉委員をここ数年しているのですが、仕事（パート、月に5回程）佐川町内での高齢者中心のスポーツのお世話、大会等などに時間をとられ地域の活動の日にほとんど参加できない日が多い。（会の日とパート、大会等の日が重なる為）（夜間なら出席できる日があるのですが）。スポーツのお世話は、今のところ、自分しかできない状態で、休んでまで会には参加できない。（後継者がいない）。毎日、車に乗って移動しているのですが、尾川橋より上の方に歩道がないことがすごく気になります。自分が歩いていても車の音がすると立ち止まらなると危ない状態。運転してても歩行者に悪いと思う。通学路が確保されていない。（尾川地区70歳代女性）
- ◆地域住民の高齢化が一段と進み、自治会内の活動にも支障が出てきており、これまで班単位で行っていた軍人墓地清掃作業は自治会の全体で行わなければならなくなった。1班では人員不足し、半数になり負担が大きすぎることから、自治会全体で清掃作業をすることになった。（尾川地区年齢性別不明）
- ◆Q13からの問いは、個人名が特定できる内容となっているが？この情報をどういう形で利用するのでしょうか？ ・トップダウンによる会議、協議会、過多。ボランティアに頼りすぎ。（尾川地区50歳代男性）
- ◆閉鎖的な地域性もあって移住者促進もあまり進んでいないようですね。全体的な所得向上ができれば心に余裕が生まれスポーツ文化活動へと向かえるかもしれません。野良猫がいなくなれば、糞尿に悩むこともなくなるのですが。尾川の誇れる一つとして「川」があげられるのですが、ヨシに負けてしまっって残念です。美しい尾川を取り戻したいですね。（尾川地区60歳代男性）
- ◆県道が通行止めになった場合、迂回路が無いため佐川方面に行けない（車では）事です。（尾川地区70歳代男性）
- ◆空き家が増えているが、家を出ている子ども達が家の修理にお金がかかり、そのまま放置している。実家であっても自分達が住んでいないので、そこまでお金をかけられない。そういう家を何らかの対象として、不平等にならない範囲で補助できないものか・家の近くの道や谷の草を刈っていたが、高齢になりそれができなくなっている人が増えてきた。家の近くの道や谷の草を刈ったりするのに、町からの補助金があれば自治会で呼びかけ継続して行うことができると思う。少しの金額でも出ればそれを周知して春から秋ぐらいに2か月に1回ぐらい実施できそうに思う。（尾川地区60歳代男性）
- ◆地域の役員さんの連絡不足。コロナで休んでいる仕事をいまだに再開しないめんどくさがっている。（尾川地区60歳代男性）

## 黒岩地区の方からのご意見

- ◆少子化が進む中、黒岩中学校も佐川中学校に統合され少子化の問題を抱えていると思う。恒例の地区民運動会も若い世代が少ないこともあり、ここ4～5年開催されていないコロナの感染もあると思いますが、この事は農業にも今後影響が出てくると思います。佐川町も取り組んでいる若い者を引き寄せ定住していただくことが、今のところ、考えられる提案です。（黒岩地区70歳代男性）
- ◆Q17：高札場（連絡、お知らせ等を掲示できる場所と雨などかからず皆が見られるもの）Q13：当地の歴史、成り立ちの共有 Q19：気軽に屋根のある（あずま屋）ベンチに集まって（自販機あり）老人が、若者が話しのできる屋外施設があれば良い！トイレがあると利用しやすくて地区の人も集まったり情報交換ができる機会も増え、ただのかかし（人形）よりはずっと活気がでてくる。（黒岩地区70歳代男性）
- ◆黒中の廃校（100%復活なし）今後の利活用方策早急に考えるべき（すでに遅い）（黒岩地区70歳代男性）
- ◆若者が地元で生活できる環境がほしい。（黒岩地区60歳代男性）
- ◆自治会によっては百歳体操など健康づくりはありますが、他の自治会の公民館に出かけています。月に1回とはいませんが、個々の自治会に「健康づくりのための料理支援」や「お薬の飲み方の講演」など、こまめに場役が自治会の公民館に入ってほしいと思います。自治会自体が人口減少で個々の楽しみで「あったかふれあいセンター」まで行きたい人はいいいのですが、ほとんどは出向くのおおっくうな人が大半です。自治会で集まりを推進できて、楽しみができる方法はありませんか？（黒岩地区60歳代女性）
- ◆休校中の中学校の活用法（黒岩地区70歳代女性）
- ◆現在休校となっている黒岩中学校をこのまま朽ち果てさせてはあまりにも勿体ない。何とか有効活用できないものかと気がかりに思っているが、なかなか名案が浮かばない。地域全体の問題として、議論を深め行政と連携して最善の道を探っていくべき。（黒岩地区70歳代男性）
- ◆下瑞応地区の急傾斜工事がいつまでたってもできない、困っています。（黒岩地区60歳代男性）
- ◆Q16：高齢化により土地の手入れができず荒地が急増して困っている。Q19：独居老人が増え自分から孤立化していく傾向があるので、行政の力を借りて対応していきたい。（独居老人が高齢になり、今後の対応が心配な事）（黒岩地区60歳代女性）
- ◆黒岩地区町道の道の草刈りをやってもらいたい。（黒岩地区60歳代男性）
- ◆Q17：限界集落でもあり、高齢化で住民減少は仕方ないとしても、空き家など放置された物を見ると、何とか維持し、利用できる方法はないのか？！と思います。Q19：これからの10年位の間に、おそらく地域で生活できる住民の数は30名ほどになると予想されます。生活域の道路の維持、草刈り、etc・・・悩みや不安を抱えている方も、それを話す（吐き出す）機会があれば、具体的な問題点が明らかになるし、取り組む課題も見えてくるように思えます。ただし、マンネリ化してる自治会が自主的に動くことには期待が持てません！行政・社協さんの方からアプローチして、地域で話し合うチャンスを作っていただけるとありがたいです。取り急ぎ自治会の代表者が意識してくれる働きかけが必要だと感じます。（黒岩地区60歳代女性）
- ◆Q16:耕作放棄地問題 Q17:いきいき百歳体操の参加者が少ない。それはまだまだ仕事等で忙しい人達が多い。世の中が多様化の時代である。Q19：黒岩地区は「集落活動センター」を中心に「いきいき応援隊」「あったかくろいわ」の活動はいつも感謝の気持ちでいっぱいです。時々の「あったかくろいわ」への参加は楽しみの一つです。スタッフのみなさんもいろいろ工夫して運営して下さいありがとうございます。行政・社協さんも少子高齢化の大きな課題も抱え、又予算も必要で大変でしょうが、町民の一人として将来の地域のため、残り少ない人生を有意義に送りたいと願っています。どうかよろしくをお願いします。（黒岩地区80歳代女性）
- ◆災害時での動きなどの話し合いなど、困った時にとりの方などの和のとり方、高齢化などにより取り組み方、不安などの話す場面作り。（黒岩地区60歳代女性）

## 加茂地区の方からのご意見

- ◆健康の為に生涯学習の教室があればいい。(無料の)(加茂地区80歳代男性)
- ◆品の値上がり、老後に必要な金2,000万円いるなどの将来のお金の不安があり、定年退職しても地域は人が帰ってこない。活動しようとしても今までの利権などがあり、人が地域に対して関心があっても関わることでトラブルに巻き込まれないようにするために、地域に無関心になりがち。将来に対するちょっとした不安を解決できれば少しずつ人たちが地域が明るくなっていくのかと思います。この不安は皆が持っているものなので、なかなか、難しいかなとは思いますが、よかれと思ってみんながネガティブなことを言ったりしますが、そんなネガティブなことは、実は知らない方が、幸せかなと思ったりします。(加茂地区50歳代女性)
- ◆自分事として考えてくれる住民が少ない。若者や女性が多く関心を持ち、参加してくれる地域活動組織を作ることが重要です。その為のアドバイスや支援がほしい。(加茂地区60歳代男性)
- ◆春の環境整備事業の河川の草刈り、草焼き、秋の道づくり若い人が殆ど出てきません。近い将来現在のよ様な方法で実施するのも大変だと思います。自治会の同じ班の近くの人でも合えば挨拶はしますが、それ以上の深い関わりはありません。若い人は少なくなり老人ばかりで地域に活気がなく、地域として寂れていくと思います。(加茂地区70歳代男性)
- ◆Q16: デジタル化の勉強会(スマホ、AI等その他デジタル化についての基礎勉強、最先端技術を学ぶ事が大事) Q17: 人口減少で10年後には集落活動センターに来る人がいなくなる。15年後には自治体が半数になると言われている。人口増の方法は移住者増若者に住んでもらえる地域にする事が必要。加茂地区は現在新しく建設されて住んでいる人が多くあり、住みやすい地域である。働く場所は高知市方面で住みやすい環境づくりを実行して移住者増若者に結婚して住んでもらえる地域にする事が大事である。 Q19: Q16の回答と同一 デジタル化の勉強会の実施(スマホ、AI等その他デジタル化についての勉強会の実施) 最低限の最先端技術を学び、必要性を自覚し、自分自身で学ぶ事が必要。  
(加茂地区70歳代男性)
- ◆どこも限界集落に着実に近づいており、若者が定住できる環境整備は必要と考える。(子どもの声は地域を明るくしてくれる)(加茂地区60歳代男性)
- ◆Q17: パワハラにあたる言葉があり。(加茂地区70歳代女性)
- ◆Q17: 地域の人が今、何を必要としているか? 今後どのようにしてもらいたいのかなどなど情報が無い。ハード面での取り組みは実行しよいてあろうが、ソフト面での活動となると、やや取り組むのが難しくなっている。(加茂地区60歳代男性)
- ◆社会環境の変化(情報化、スマホ、TVなど)(車社会: 人と人とのふれ合い。声かけや雑談機会の減少など)も基調、一因となって様々な課題に波及していると思います。こうした背景を踏まえて、誰でも、いつでも、どこでも声をかけ合う(世代を超えて)集いや交流の機会をできるだけ多くなること、そしてその中で課題を抽出し、やるべき解決・改善や取り組む優先順序をたてて、みんなが共有して取り組むようにしたいと思っています。あったかふれあいセンターの職員の雇用内容の改善が進められ感謝していますが、同じ(集落センター内)職域内の支援員との格差やあったか職員の新規雇用(離職に伴う)対応が課題となっています。(加茂地区80歳代男性)

**2. 改正社会福祉法（平成30年4月1日施行）**

※令和2年度一部改正

## 《関連条文のみを抜粋》

（地域福祉の推進）

第四条 地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない。

2 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者（以下「地域住民等」という。）は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

3 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防（要介護状態若しくは要支援状態となることの予防又は要介護状態若しくは要支援状態の軽減若しくは悪化の防止をいう。）、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題、福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの孤立その他の福祉サービスを必要とする地域住民が日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される上での各般の課題（以下「地域生活課題」という。）を把握し、地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関（以下「支援関係機関」という。）との連携等によりその解決を図るよう特に留意するものとする。

（福祉サービスの提供の原則）

第五条 社会福祉を目的とする事業を営業者は、その提供する多様な福祉サービスについて、利用者の意向を十分に尊重し、地域福祉の推進に係る取組を行う他の地域住民等との連携を図り、かつ、保健医療サービスその他の関連するサービスとの有機的な連携を図るよう創意工夫を行いつつ、これを総合的に提供することができるようにその事業の実施に努めなければならない。

（福祉サービスの提供体制の確保等に関する国及び地方公共団体の責務）

第六条 国及び地方公共団体は、社会福祉を目的とする事業を営業者と協力して、社会福祉を目的とする事業の広範かつ計画的な実施が図られるよう、福祉サービスを提供する体制の確保に関する施策、福祉サービスの適切な利用の推進に関する施策その他の必要な各般の措置を講じなければならない。

2 国及び地方公共団体は、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備その他地域福祉の推進のために必要な各般の措置を講ずるよう努めるとともに、当該措置の推進に当たっては、保健医療、労働、教育、住まい及び地域再生に関する施策その他の関連施策との連携に配慮するよう努めなければならない。

3 国及び都道府県は、市町村（特別区を含む。以下同じ。）において第百六条の四第二項に規定する重層的支援体制整備事業その他地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備が適正かつ円滑に行われるよう、必要な助言、情報の提供その他の援助を行わなければならない。

（包括的な支援体制の整備）

第百六条の三 市町村は、次条第二項に規定する重層的支援体制整備事業をはじめとする地域の実情に応じた次に掲げる施策の積極的な実施その他の各般の措置を通じ、地域住民等及び支援関係機関による、地域福祉の推進のための相互の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を整備するよう努めるものとする。

一 地域福祉に関する活動への地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援、地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備、地域住民等に対する研修の実施その他の地域住民等が地域福祉を推進するために必要な環境の整備に関する施策

二 地域住民等が自ら他の地域住民が抱える地域生活課題に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、必要に応じて、支援関係機関に対し、協力を求めることができる体制の整備に関する施策

- 三 生活困窮者自立支援法第三条第二項に規定する生活困窮者自立相談支援事業を行う者その他の支援関係機関が、地域生活課題を解決するために、相互の有機的な連携の下、その解決に資する支援を一体的かつ計画的に行う体制の整備に関する施策
- 2 厚生労働大臣は、次条第二項に規定する重層的支援体制整備事業をはじめとする前項各号に掲げる施策に関して、その適切かつ有効な実施を図るため必要な指針を公表するものとする。

(市町村地域福祉計画)

第一百七条 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- 一 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項
- 二 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- 三 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- 四 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
- 五 地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項
- 2 市町村は、市町村地域福祉計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村は、定期的に、その策定した市町村地域福祉計画について、調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。

(市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会)

第一百九条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の二以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあつてはその区域内における地区社会福祉協議会の過半数及び社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が、指定都市以外の市及び町村にあつてはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が参加するものとする。

- 一 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 二 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 三 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 四 前三号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
- 2 地区社会福祉協議会は、一又は二以上の区（地方自治法第二百五十二条の二十に規定する区及び同法第二百五十二条の二十の二に規定する総合区をいう。）の区域内において前項各号に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、その区域内において社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が参加するものとする。
- 3 市町村社会福祉協議会のうち、指定都市の区域を単位とするものは、第一項各号に掲げる事業のほか、その区域内における地区社会福祉協議会の相互の連絡及び事業の調整の事業を行うものとする。
- 4 市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会は、広域的に事業を実施することにより効果的な運営が見込まれる場合には、その区域を越えて第一項各号に掲げる事業を実施することができる。
- 5 関係行政庁の職員は、市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会の役員となることができる。ただし、役員総数の五分之一を超えてはならない。
- 6 市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会は、社会福祉を目的とする事業を経営する者又は社会福祉に関する活動を行う者から参加の申出があつたときは、正当な理由がないのにこれを拒んではならない。

### 3. 佐川町地域福祉アクションプラン策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 佐川町における地域福祉を総合的に推進することを目的として、社会福祉法（昭和26年法律第45号）に基づき佐川町地域福祉アクションプラン（以下「計画」という。）を策定するに当たり、地域住民、地域組織、関係団体等の意見を反映させるため、佐川町地域福祉アクションプラン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、計画策定に関する事項について、調査審議し、その結果を町長に報告するものとする。

(組織)

第3条 委員会は、地域福祉に関係する者のうちから、町長が委嘱又は任命する委員30名以内をもって組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から当該年度の末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が会議の議長を務める。

2 委員長が必要と認めるときは、委員会に所掌事項に係る関係者の出席を求めることができる。

(作業部会)

第7条 計画原案策定に至るまでの素案の立案及び調査検討を行うため、委員会の下部組織として作業部会を置くことができる。

(庶務体制)

第8条 委員会及び作業部会に係る庶務は、佐川町健康福祉課並びに佐川町社会福祉協議会の共管とする。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

## 4. 策定委員会・アドバイザー・事務局名簿

## 地域福祉アクションプラン策定委員会

	氏名	所属・役職等
1	西森 勝仁	自治会長会会長 佐川 よさこいクラブ連合会会長
2	田村 公孝	自治会長会会長 斗賀野
3	河添 周二	自治会長会会長 尾川
4	谷脇 正純	自治会長会会長 黒岩
5	片岡 幸雄	自治会長会副会長 加茂
6	堀見 昇出	みんなで福祉のまちづくり会 委員長
7	吉村 典宏	みんなで福祉のまちづくり会 佐川 佐川町自主防災組織連絡協議会会長
8	坂本 玲子	みんなで福祉のまちづくり会 斗賀野
9	澤村 重隆	みんなで福祉のまちづくり会 尾川
10	永田 滋	みんなで福祉のまちづくり会 黒岩
11	大山 端	みんなで福祉のまちづくり会 加茂
12	下川 芳樹	みんなで福祉のまちづくり会 加茂 高吾保護区保護司会 会長
13	秋澤 利一	佐川町身体障害者協議会 会長
14	長山 朋幸	佐川町手をつなぐ親の会会長
15	嶋村 里美	佐川町食生活改善推進協議会会長
16	藤本 雅生	佐川町消防団長
17	西森 啓助	佐川町民生児童委員協議会会長
18	藤田 早苗	佐川町保育協議会会長
19	安田 節子	わくわくクラブ代表
20	尾崎 國弘	佐川町介護保険運営協議会会長
21	白石 圭一	佐川町地域自立支援協議会会長

(順不同)

## アドバイザー

	氏名	所属・役職等
1	田中 きよむ	高知県立大学社会福祉学部 教授
2	濱田 純	高知県中央西福祉保健所 地域支援室長
3	仙頭 正輝	高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課長
4	大塚 理世	高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課 主任

## 事務局（社会福祉協議会・健康福祉課）

	氏名	所属・役職等
1	田村 佳久	社会福祉協議会 事務局長
2	土居 妃佐	社会福祉協議会 総務主任
3	濱田 皓美	社会福祉協議会 ボランティアセンター主任
4	田中 ゆかり	社会福祉協議会 ファミリーサポートセンターアドバイザー
5	田村 里桜	社会福祉協議会 あんしん生活支援センター コミュニティソーシャルワーカー
6	正岡 幹子	社会福祉協議会 あんしん生活支援センター 地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）
7	安井 紗弓	社会福祉協議会 あんしん生活支援センター アウトリーチ支援員
8	岡崎 省治	健康福祉課長
9	横畠 由起	健康福祉課長補佐
10	上田 くみ	健康福祉課長補佐
11	森 仁	健康福祉課長補佐
12	篠原 ゆみ	健康福祉課 子育て支援係長
13	中越 佐知	健康福祉課 子どもサポート係長
14	高瀬 昭子	健康福祉課 障害支援係長
15	下八川加奈	健康福祉課 地域包括支援センター係長
16	麻田 典宏	健康福祉課 介護保険係長
17	山本 順子	健康福祉課 地域福祉係長
18	佐野 雄一	健康福祉課 地域福祉係

## 5. 用語集

用語	説明
あったかふれあいセンター	子どもから高齢者まで年齢や障害の有無にかかわらず、誰でも気軽に集い、『集い』『集い送迎』『訪問』『生活支援』『学び』『つなぎ』等のサービスを受けることができる【高知型地域共生社会】の拠点です。
介護予防	要介護状態若しくは要支援状態となることの予防又は要介護状態若しくは要支援状態の軽減若しくは悪化の防止をいう。
協議体	市町村が主体となり、各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワーク。
権利擁護	権利擁護とは、自己の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障害者の人権擁護やニーズ表明を支援し代弁すること。近年は、認知高齢者の増加や、家族関係の希薄化などの社会背景を受け、成年後見制度や日常生活自立支援事業などの利用者が増加している。
災害時要配慮者	災害時に特に配慮が必要な方で、高齢者・障害者・乳幼児・妊産婦・傷病者・内部障害者・難病患者等を想定している。一般的な避難所では生活に支障が想定されるため、福祉避難所での受け入れなど何らかの特別な配慮をする必要がある。
災害ボランティアセンター	災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するための組織。
集落活動センター	地域住民が主体となって、地域外からの人材も受け入れながら、旧小学校や集会所などを拠点に、それぞれの地域の課題やニーズに応じて、生活、福祉、産業、防災といった様々な活動に総合的に取り組む仕組み。
生活困窮者自立支援制度	生活困窮者自立支援法（平成 25 年法律第 105 号）に基づき、生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」を全国的に拡充し、包括的な支援体系を創設するもの。 (1)生活困窮者の自立と尊厳の確保(2)生活困窮者支援を通じた地域づくりを目標としている。
生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者。
成年後見制度	認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度。

用語	説明
地域共生社会	世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。
脱炭素社会	地球温暖化・気候変動の原因となる温室効果ガスのうち、最も排出量の多い二酸化炭素(CO2)について、実質的な排出量ゼロを達成している社会のこと。
8050問題	子が親を介護するのとは逆に、80代の親が引きこもっている50代の子どもの生活を支えている社会問題。
避難行動要支援者	佐川町地域防災計画における定義 災害時要配慮者のうち、在宅生活をしている方で、災害時に自力での避難に不安があり、地域で避難支援等関係者の支援を必要とする者であって、下記のいずれかに該当する方をいう。 ①身体障害者手帳第1種、総合級1～3級の交付を受けている方 ②療育手帳の交付を受けている方 ③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方 ④75歳以上のみで構成される世帯の高齢者 ⑤介護保険法による要介護1～5までの認定を受けている方 ⑥障害者総合支援法の適用を受けている難病の方
避難支援等関係者	佐川町自主防災組織、佐川町消防団、佐川町民生児童委員、高吾北消防本部、佐川警察署、佐川町社会福祉協議会
BBS会	非行少年等さまざまな立場の少年に「兄」や「姉」のような立場で接することで、少年の立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体。
フードバンク	安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫などの理由で、流通に出すことができない食品を、企業などから寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動。
福祉避難所	高齢者や障害者など一般の避難所生活では支障をきたす要配慮者に対して、特別の配慮がなされた避難所のこと。
ヤングケアラー	家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと



## 第4次佐川町地域福祉アクションプラン

発行日：令和6年3月

発行者：佐川町健康福祉課

〒789-1202 高知県高岡郡佐川町乙2310

TEL:0889-22-7716 FAX:0889-22-7721

社会福祉法人 佐川町社会福祉協議会

〒789-1202 高知県高岡郡佐川町乙2310

TEL:0889-22-1510 FAX:0889-22-5621